



11月定例会の一般質問終了しました

私の一般質問に対して

市からの回答は

① 聞こえのサポートが

できる市の施策を

補聴システムのヒアリンググループの活用などは前向きに取り組んでいく。市役所等への設置なども検討する。

補聴器助成制度の創設は近

隣市の動向も踏まえ、実態調査の上で検討する。

② セーフティネットと

なりうる住宅政策に

セーフティネットとしての住宅政策が、質問への回答で全くセーフティネット住宅につかないでないなど、市として余りに無策であることも明らかになりました。

長期的な計画、支援につなぐ

ための市営住宅の入居基準見直し(保証人制度など)や今後の整備、支援方法の勉強、養護老人ホームの個室化やバリアフリー化の検討などは、やっていくとの回答だったので、引き続き市の姿勢を見守っていきたいです。

③ 市民が利用する公共

施設のネット環境整備を

学習センターの貸し部屋のネット環境などには至急取り組んでもらえるとの回答でした。

図書館や市役所、議会など必要などころについて早急に考えて頂くよう要望しました。

④ 子育ての新たな支援策を

子育て支援のための保育料無料化や国保税免除は色よい回答をいただけませんでした。回答を待機児童は解消させる、と言う強い意志は表明したので、今後も子育て支援を要望していきまます。

ネット視聴を含め傍聴下さった方、ありがとうございます。詳しくは議会報告(市議会共産党だより)を出します。

市職員向けのLGBT

学習会に参加しました

本当にここ数年で広まったLGBTと言う言葉ですが実際の社会での認知度はまだまだです。ご自身女性として生まれた方が

それに違和感があり、手術や戸籍・氏名の変更もして今男性として生きていらつしやる当事者のお話を伺う学習会に参加しました。様々な場所で行った学習会が持たれて、すべての人たちが自分らしく生きていけるような世の中になつていくことが大切です。

日本の民間調査では13人に1人、5〜8%がLGBTで、左利きと同じくらいの比率だそうです。差別がある社会で、打ち明けられずカミングアウト(公表)しない方が多いために、身近にいないことにされている、との指摘は衝撃的でした。

L(レズビアン 女性の同性愛者)
G(ゲイ 男性の同性愛者)
B(バイセクシャル 両性愛者)
T(トランスジェンダー 戸籍上の性と性自認が異なったり違和感がある人)

性格や嗜好がみんな違うように「性も10人10色」でいたいこちとといったグレーゾーンも存在します。

今まで知らないうちに人を傷付けていたんだと思いました。レインボーフラッグが掲げられるジェンダーフリーを求める集会が行なわれるようになりましたが、まだまだ偏見の目は強い。女性差別だけでなく、多様な性が自然に受け止められる社会がいいなあ、とつくづく思いました。そうすれば「男のくせに」「女のくせに」といういやな言葉も死語になります。

#国会を閉じるな!

感染拡大への対策

はどうするの?

予備費を使って補正 予算組まないの?

前政権と全くかわらない党利党略、私利私欲の政治です。国会を続けたら都合が悪い、自分たちに不利になると判断しているのでしょうか。

GoToも止めず、国としての緊急措置もとらず、新たな支援策もせず、自治体任せにしては、感染押さえ込みもひっ迫している医療体制の強化もできません。このままでは年末年始が心配です。



ひかりのオブジェ展

都会のぎらぎらした明るさはないけど暖かい光です。コロナ禍でもあきらめずにちゃんと開催。(1/15まで)